

シートメタル九州

Sheet Metal

KYUSHU

2015 秋号

第43号



CONTENTS

特 集

- 京都・新潟 視察報告 2

企業探訪

- 第 42 回
株式会社脇山製作所 4

工業会からのお知らせ

- 板金図面検定合格者おめでとう 6

トピックス

- 有限会社ユー・アイ技研 25周年を迎えて ... 8

マイブーム

- 手軽にワインを楽しむ 10

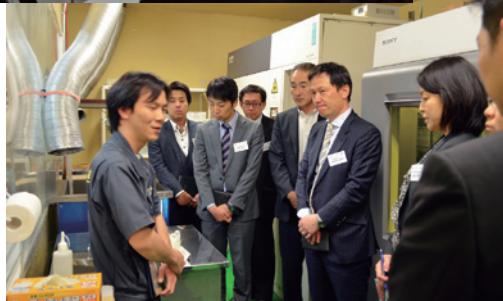
- 編集後記 11

特集 京都・新潟 視察研修

工業会では、設立 20 周年に向けた新規取組事業として、工業会での共同受注、共同製作を目指し準備を進めています。昨年度は、その一環として上海と福岡での展示会に出展しました。上海では会員企業 8 社による共同出展、福岡では新規会員企業の勧誘を目的として工業会単独出展で、どちらも工業会での共同受注はまだ前提としていませんでしたが、展示会後に工業会への直接の問い合わせが数件寄せられました。今後そのような問い合わせを共同受注、共同製作に繋げるための仕組み作りが必要であることから、既に共同受注、共同製作を実践されている「京都試作ネット」と「磨き屋シンジケート」の視察・調査を実施しました。

1)京都試作ネット視察(5/21 参加:7 社 8 名)

代表理事の(株)クロスエフェクト竹田社長を訪ね、概要やしくみについて伺いました。



- 会員構成は、コア会員 30 社(年会費 60 万円)、サポート会員 75 社の計 105 社。
- 問合せ受付は Web のみに絞り、受付後に当番会社が中心となり、コア会員間でチャットでのやり取りを行い、2 時間以内に見積もり回答する。サポート会員はコア会員の応援。
- 当番会社は、コア会員が週代わりで務める。
- 月の問合せ数は約 100 件。内受注率は約

20%。年間売上約 2 億円。

- 受注会社は、売上の 5% を試作ネットへ納付。
- 大口受注の為に、京都府の協力のもと、京セラやオムロンなど京都の 27 の企業が出資し「京都試作センター(株)」設立。
- ホームページ、展示会、テレビ取材と、メディア戦略をたて、メディアによって新規試作の問合せがあり、その新規試作案件がメディアを呼ぶといった好循環を生んでいる。
- 試作により、各業界の今後の動向が見えてくる。⇒提案力、付加価値向上につながる。
- 試作ネット経由の売上がたった 5% であっても、新しい風を注入することで、企業の活性化が図れる。
- メンバー企業が次々と新分野で飛び立っていく姿を間近で見れる。(躍動感)



人々、企業経営とはどうあるべきかについて、ピーター・F・ドラッカーの著書を教科書に勉強会を始めたのがスタートで、「京都のものづくりを未来永劫残す」との"使命"の為に、京都を一大「試作集積地」にすべく事業展開されています。コア会員になるにはこのカリキュラムを受け、"使命"を理解できなければなりません。勉強会も週 2 回開催されています。

2)磨き屋シンジケート(6/18 参加:7 社 8 名)

金属研磨のスペシャリストの集団「磨き屋シンジケート」の共同受注の秘訣を教えていただこうと、窓口である燕商工会議所にて、担当の高野様より説明をしていただきました。

主に食器の研磨をしていた研磨組合が仕事量の減少を危ぶみ商工会の高野さんに相談したところ、磨き屋シンジケートと名乗り、ホームページで技術力をアピールして行こうということになりました。すると半導体や機械装置など従来とは違う仕事が増えていき、その成功事例から更に技術力がアピールされるという好循環が生まれ仕事の量が劇的に増えました。(ipod の背面の鏡面磨きで有名になったのもこの頃です)

しかし、その後リーマンショックとなり、受注先からの仕事の依頼が激減してきました。

そこで、大手各種メーカーとのコラボ商品をプロデュースしていきます。

- ・スーパードライを買うと「泡立ちのきれいな鏡面磨きタンブラー」が当たる。
- ・Mt.RAINIER のカフェフラッペを買うとオリジナルスプーンが当たる。
- ・COCO 壱番屋でスプーンを当てよう 等

今までよりもうんと生産量の多いもので、キャンペーン終了後も磨き屋シンジケートのオリジナル製品として販売できるものを製作し、知名度と技術の両方を上げるのに成功しています。磨き屋シンジケートブランド、燕ブランドの定着に取り掛かり、見事に自社ブランド（団体ブランド）、を売り出すメーカーとして販売をプロデュースするようになりました。というのが一連の流れです。



次にその仕組みですが、

1. 会員企業数は 31 社
2. 受注は、電話・FAX で基本的には燕商工会議所・高野様が受け、幹事 5 社に連絡。幹事は、その仕事ができる会社を選択する。
3. 幹事は幹事からの推薦状により誰でもなる。(任期なし)
4. 入会金は無し、年会費 幹事 35,000 円
会員 15,000 円 賛助会員 30,000 円
入会の条件は所在地が新潟県内、従業員 20 人以下。
5. 会員はほぼ磨き屋、プレス加工は燕市のプレス屋さんを利用。
6. 人の仕事はとらない。もともとやっているところにマッチングする。(洗浄屋さんに聞くとだいたいわかる)
7. 事務局にて、共同受注マニュアル・生産管理・技術指導標準マニュアルの作成。
8. 事務局は手数料ゼロ。

9. 商標登録は商工会議所。

10. オリジナル商品に関しては商社が入る。商社、デザイナーとの契約は商工会議所。
11. 金属製カップは地域経済に 10 億円の恩恵を与える（内、磨きが 2 億円）商工会議所にマージンが入る（年間売上 6000 万、営業利益 1500 万円）。

実際の研磨を拝見するため、磨き屋シンジケートの 1 社、小林研業を訪問させていただきました。マグネシウムの研磨、ipod の研磨で名を馳せ、総理が訪問されたという会社は決して大きくも新しくもないが、技術力と知名度は抜群でした。

磨き屋シンジケートは、職人中心のものづくりの町としてやっていくという理念の下、磨きやすい形状のものでオリジナル商品を考え、注目は職人に集まるようにしている。

技術を守るため若手育成にも力を入れ、燕研磨共同組合が磨き屋一番館を経営し、親方（引退したベテラン）が実製品を若手に磨かせて稼ぎながら育てる仕組みもできている。

2007 年安部首相は訪問時に「サポイン事業で補助金を出すので若手を育ててください」小林社長は「引退せず、若手を育てるから中小企業を守る政策をお願いします」と、お互いの約束を守られていて素晴らしいことだと思いました。さらに再三マスマディアに取り上げられたことも幸いして新潟燕三条は産業観光としても成功しつつあります。

私が直接、新潟燕三条まで来て、見て、感じたのは、成功の秘訣はスーパー プロデューサーとしての商工会の高野様の力、とそれをこなせる磨き屋さんたちの技術力だということです。

そして皆さんのが自分たちの職業、自分たちの地域を良くしよう！という気持ちが同じ方向を向いていることが一番大事で、そこが揃っていないと成しえないと気づかされました。

訪問前は、見積もり方法や仕事の振り分け方等、細かい部分について知りたいと考えていましたが、その前にベースとなる理念や目的が明確かつ共有される必要があると感じました。20 周年に向け、まずは企画推進委員が「何の為にやるのか？」からしっかり学び、意思統一を行っていきます。

（植木 剛彦（株）ナダヨシ 長澤 敏光 ナサ工業（株））

企 業 探 訪

第 42 回

株式会社 脇山製作所

九州シートメタル工業会の会員各社をご紹介させていただく本シリーズ。

42 社目は、佐賀県唐津市に本拠を構える(株)脇山製作所の脇山和人社長にお話を伺って参りました。

Q：ご創業のきっかけについてお聞かせください。

A：当社の創業は、父であり前社長の和幸会長が修行していた茨城県の坂本製作所の九州分工場を唐津に立ち上げた 1971 年に始まります。

茨城県の会社ですが、父の叔父にあたる方が経営していた会社でしたので、九州出身の若い父に 20 歳そこそくでもいろいろと任せてもらったと聞いています。ちなみに私の母とは職場結婚で、実は私も茨城県生まれなんですよ(笑)。

創業時、九州工場では主として富士通様を始めとした電機メーカーのプレス部品の製作を行っていたと聞いています。

その後、業容拡大していく中で 10 年後の 1981 年に父が九州工場のすべての事業を引き取り、株式会社 脇山製作所として



すっきりした工場内

名実ともにスタートすることとなりました。2007 年には私が社長に就任、2010 年には唐津市後川内の新本社に移転し、現在に至っています。

Q：創業から現在に至るまでどのようなビジネスを開拓してきたのですか？

A：創業から 20 年は主として電機メーカーの小物プレス部品の加工を中心に事業展開をおこなってきました。

その中で、プレス金型を作つてまでやる必要のない製品をセットプレス等で少量加工を行うようになり板金加工も手掛けていくようになりました。

20 年ほど前に私が入社。しばらくは現場作業をやっていましたが、専務となり営業を本格的に任されてからは、将来を展望した中で様々な業種とお取引を進めていくことが自社には必要と考え、従来のプレス加工から板金加工に軸足を移しながら農業分野、原発関連、工作機械メーカーのお仕事への取組を積極的に展開していきました。

飛び込み営業や地元の有名企業の工場責任者からしかられたり、自分のミスで危うく会社を傾かせるような失敗もありましたが、何でもやることで当社の技術や体制も大いに鍛えられたことが現在につながっていると思います。

今現在は、産業機械部品や工業用ラック等の仕事を中心に事業を行っています。

Q：今後どのような事業展開をお考えですか？

A：まずは、工場管理や社員教育といったソフト面の充実を図つてきました。



デザイン看板



SUS 製配管用断熱カバー

今まで工場や設備といったハード面の充実に力を入れてきたのですが、リーマンショックで手痛い思いをしてから、工場のスムースな運営方法の確立や働きやすい職場を作り上げていくことが大切であると再認識し、そのための社員教育や制度の拡充を進めています。

なかなか骨のいる仕事ですが、今年4月からは新・給与制度をスタートし、皆の働く目標の明確化ややりがいを喚起する仕組みを構築することができました。

これを創りあげるまでも大変でしたが、これを有効に運用するための人づくりも同時に進めています。

このソフト面が充実していくと今あるハードの有効利用につながり、ひいては事業そのものの発展につながるものと信じています。

また、今年の新しい取組としてベトナム人実習生の受け入れと塗装事業をスタートするのですが、塗装事業には女子が名乗りをあげてくれてうれしく思っています。

これも社員教育の賜物ですかね(笑)。

インタビューを終えた後、工場内を見学させていただきました。

活気あふれる工場内部はきれいに整備されており、大きく立派な溶接定盤が印象的でした。

また非常に多くの女性が働かれていました



多目的ラック



きれいに磨かれた大きな定盤



「和」の記念碑前にて

で、お聞きすると女性比率が50%だそうで、その率の高さに企業活力の源泉を垣間見ることができました。

最後に工場内に立つ「和」の石碑が会社のシンボルということで脇山社長と筆者で記念撮影をさせていただき取材を終わらせていただきました。

インタビューのお時間を頂戴した脇山社長様はじめ脇山製作所の皆様、また事務局の皆様ご協力本当にありがとうございました。

〈田名部 徹朗（株）三松〉



本社事務所

会社概要

商 号：株式会社 脇山製作所
代表者：脇山 和人
住 所：佐賀県唐津市後川内 1401-1
T E L：0955-74-3431
F A X：0955-74-5330
設 立：1971年（創業）
従業員：40名
U R L：
<http://www.wakiyamaseisakusyo.jp/>



板金図面検定合格おめでとう

板金図面検定合格おめでとうございます

第9回目の『板金図面検定試験』が平成27年8月22日に実施されました。

7月に検定前講習を福岡で開催し、下記21名（1級 9名・2級 12名）の方が、難関を突破され見事に合格されました。

板金図面検定 合格者

1級合格者		
合格者名	会社名	資格取得番号
藤本 浩志	株式会社 伸栄金属製作所	2015-1-0078
池田 政博	ナサ工業 株式会社	2015-1-0079
上野 涼	株式会社 三松	2015-1-0080
柳 勇輝	株式会社 三松	2015-1-0081
長濱 康之	株式会社 伸栄金属製作所	2015-1-0082
木村 友佑	ナサ工業 株式会社	2015-1-0083
飯干 惣仁	株式会社 ナダヨシ	2015-1-0084
岩田 純治	リョーユウ工業 株式会社	2015-1-0085
古木 信一	八祥産業 株式会社	2015-1-0086

2級合格者		
合格者名	会社名	資格取得番号
諸岡 信二	株式会社 立壳堀製作所 大阪工場	2015-2-0112
長畠 純一	株式会社 鐘川製作所	2015-2-0113
三浦 涼介	株式会社 伸栄金属製作所	2015-2-0114
島田 大彦	株式会社 鐘川製作所	2015-2-0115
長谷 涼	株式会社 昭和	2015-2-0116
友利 勝明	長嶺電機 株式会社	2015-2-0117
松本 大	八祥産業 株式会社	2015-2-0118
増田 貴一	株式会社 三松	2015-2-0119
甲斐 茜	株式会社 昭和	2015-2-0120
平井 夕貴	株式会社 三松	2015-2-0121
玉城 翔正	長嶺電機 株式会社	2015-2-0122
徳永 孝太	長嶺電機 株式会社	2015-2-0123

合格者のコメント



板金図面検定 1級合格

藤本 浩志
株式会社
伸栄金属製作所

板金図面検定試験にあたり、講習会は私が社内の受験者代表で参加。事前に昨年度のテキストを一読して参加しました。他の受験メンバーに教える為に、何度もテキストを読み返し、解らないころは、インターネットなどで調べていきました。業務との両立に苦労しましたが、試験前には独自に問題集を作成し、繰返し解答するなどして勉強に取組み試験に挑みました。今回の合格を機に更なる精進をしていきます。



板金図面検定 2級合格

甲斐 茜
株式会社 昭和

私は、精密板金の検査員として働いています。

製品の完成品を見ることが多く、物を展開することがとても難しく感じていました。

それで、プログラムの方に展開の練習問題を作ってもらい、詳しく理解できるまで教わりながら、受験仲間と一緒に勉強をしました。

受験することで、完成品前のことや、他の工程の難しさを実感することが出来たのでとてもいい経験になりました。



板金図面検定 2級合格

諸岡 信二
株式会社
立売堀製作所
大阪工場

板金図面検定試験を受けて図面の描き方だけでなく溶接記号や曲げ加工、材料の特性など板金加工に関する多くの事を勉強する良い機会になりました。図面の描き方や加工の指示の仕方などはそれぞれの会社によって違うとは思いますが、今回の試験で勉強した事を活かして ISO や JIS に基づきより皆に伝わりやすく正確な図面を描いていこうと思います。

TOPICS

有限会社ユー・アイ技研 25周年を迎えて

平成 27 年 4 月、弊社 有限会社ユー・アイ技研はおかげ様を持ちまして 25 周年を迎えることが出来ました。

九州シートメタル工業会員の各社様、並びに株式会社アマダの皆様には日頃よりの感謝とご愛顧に謹んで御礼申し上げます。

去る 7 月 11 日には、この 25 年間の歩みを皆様と共に祝したく、祝賀パーティーを開催させていただきました。

田名部工業会会长様はじめご来臨いただきました皆様、本当にありがとうございました。また、工業会よりお花と祝電をいただきましたことも合わせて御礼申し上げます。

平成 2 年の春、私の父であり弊社創業社長の宮本 寛が『これから製造業には情報や知識の集約も重要な要素となる』との想いも込め、『United Information』の頭文字を冠した『ユー・アイ技研』を設立しました。

設立当初より、父の前職であったプレス加工とは仕事がかぶらないようにということ、少人数で小ロットの対応が可能な板金を始めたいとの考えの元、6 人からのスタートでした (H27 年 8 月現在 46 名)。

しかしながら、父は創業から 2 年を待たず平成 4 年 2 月に他界し、それからの 17 年間は二代目社長（現会長）である母、宮本昭子が会社の舵取りを行うことになりました。

母はそれまで全く経営にタッチしていませんでしたので、本当に専業主婦からいきなりの転身でしたが、父の悲願でもあった『4000 mm 級のプレスブレーキ』を父の他界から一年目で実現、その後父が最後に計画していた『最新のタレパンの導入』をきっかけに、本格的に板金の仕事を展開していくことになりました。

す。

その間、諸先輩企業様をはじめ当時のアマダのご担当者様たちのアドバイスがあったからこそ、今に続く弊社の礎が築けたのだと思います。

タレパン (VIPROS357Q) の導入を機に、2 年間他社で仕事をしていた私が呼び戻されることになりました。当時は年配のベテラン職人さんばかりで、急激な『加工機の IT 化』に対応するためには若い人間が必要という事情もありました。とはいって完全な文系で、まして数学が大の苦手（というより全く解らなかった）の私にとって『図面を読み解く』などということは本当に大変なことで、入社して最初にやったのは高校の数学のドリルを一から勉強し直すことでした。幸いにして AP100 の機能にも助けられ、なんとかタレパンの立ち上げにも成功し、その後は 2001 年（平成 13 年）に新工場に移転、同時にレーザー加工機を導入し、仕事の内容も従来のビル向け建築板金メインから徐々に精密板金のウェイトも増やしていました。

2007 年（平成 19 年）には本社棟に隣接した第二工場を建設と共に 2 台目となるレーザー加工機の導入、それに伴い大幅に人員も拡大しました。が、直後の翌年にリーマンショックに見舞われます。そのような状況の中、母は『私は最初の約束通り、還暦を迎えたたら引退する』と、2009 年（平成 21 年）、三代目となる私、宮本 健司にバトンが渡されました。

社長就任から最初の 3 年は、リーマンショックと後に続く東日本大震災後の業績回復だけに四苦八苦していましたが、『新人だ



ろうとベテランだろうと、こんな状況は誰も経験したことがないのだから条件は同じ』と自分に言い聞かせながら、必死に経営に取組みました。

あれから約6年が過ぎ、こうして25周年を迎えることが出来たのは、ずっと応援してくださった工業会員の皆様や、温かく弊社の成長を見守って下さったお客様、そして何より我々親子三代を信じ、一丸となって一緒に頑張って来てくれた従業員の皆さんのおかげだと思います。

先日のパーティー終盤に、弊社会長より『創業社長の二十三回忌の年が会社の25周年に重なることに気づいてから、その日を迎えることをずっと心待ちにしていた』とご挨拶させていただきました。そんな両親の想い



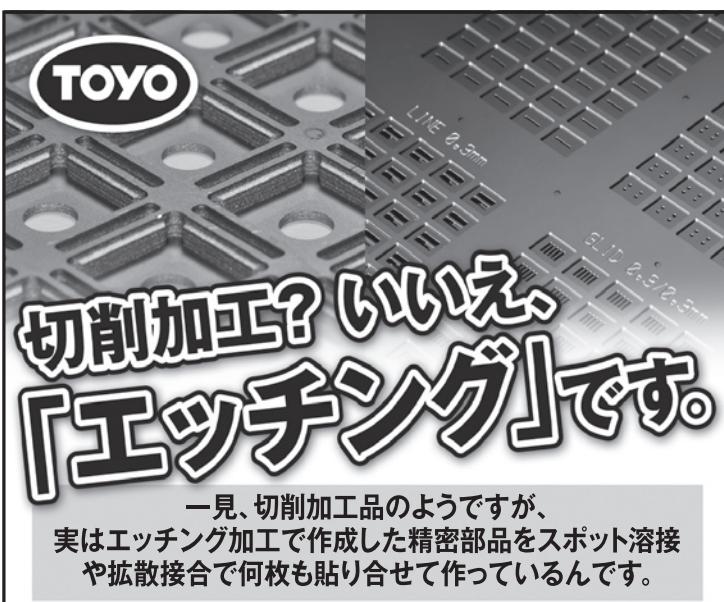
を聞き、私もさらに気を引き締めていかなければと改めて心に刻み込みました。

今回、25周年を機に会社のCIを一新し、今までの『U・I』『友愛』にプラスした『You × Innovation=UI』をキャッチフレーズとしました。『あなた』と『革新』を目指すという、弊社の今の心意気を表したものです。

本当に、この場では言い尽くせないような25年間でしたが、まだまだ歩みを緩めるつもりはなく、これからさらにスピードを上げて邁進していく所存です。

今後とも有限会社ユー・アイ技研をよろしくお願ひ致します。

有限会社ユー・アイ技研
代表取締役 宮本 健司



TOYO

切削加工? いいえ、「エッティング」です。

一見、切削加工品のようですが、
実はエッティング加工で作成した精密部品をスポット溶接
や拡散接合で何枚も貼り合せて作っているんです。

【 エッティング部品を積層してキャリア、パレット、トレイ、メタルマスクなど、様々な治具を作成します】

エッティング積層治具のメリット

○加工歪みが無く、バリ、カエリも生じません。○一穴単位の加工ではない為、ポケット数が増えてもコストに影響しません。○切削加工では不可能な狭ピッチに対応可能です。○量産効果が出やすく、ほとんどの場合、複数個作成時には切削加工より低成本になります。

治具のエキスパートによる
プロセスに合わせた最適なご提案

エッティングに関する知識が無くても大丈夫。
構想段階でのご相談も大歓迎。

数多くの実績を持つ当社の経験と技術力を生かし、貴社のプロセスに合わせた最適な治具をご提案させて頂きます。

東洋精密工業株式会社 お気軽にお問合せ下さい
tel.0744-23-9161 (営業部直通)
toyo1p-md@toyo-ppm.co.jp fax.0744-22-3750

<http://www.toyo-ppm.co.jp> 〒634-0836 奈良県橿原市新堂町376番地の1

★マイブーム★

～手軽にワインを楽しむ～

みなさんこんにちは。シマヅテックの島津と申します。ワイン通でもなんでもない私ですがワインにおける最近のマイブームをちょっと紹介したいと思います。先日といつても2、3ヶ月前だったと思いますが、何気なくテレビを見ていたら日本でワイナリーを経営している方のコメントでコンビニワインでも一般家庭の押入れによく眠っている“あるもの”をほんの少し加えるだけでとても美味しいワインになると紹介していました。半信半疑のまま私も実家の押入れをあさりそれを物色して近くのコンビニで1000円未満のワインを購入し飲み比べてみました。なんと！確かに美味しくなりました。狐につままれたような感じでした。（磨き屋シンジケートで買ったエコカップでビールを飲んだ時の感覚の様に…。すいません一部の方にしかわかりませんでした（笑）。）不思議だ！何で？



ご存知の方も多いと思いますが、お酒の作り方には醸造酒と蒸留酒の2種類に分かれます。醸造酒は酵母による発酵あと処理をしないため数十種類のアルコール成分が含まれそれが味の複雑さを出します。ビール、日本酒、ワインがこれに該当します。それに対して蒸留酒は醸造酒を一定の温度で温めることでその温度で揮発するアルコールのみを抽出しているのでアルコールはほぼ1種類しかありません。ウイスキー、焼酎、ブランデーがこれになります。ワインを蒸留したものがブランデーになります。それで相性がいいのか！

ここまでくれば皆さんもお分かりでしょう。そうです。ブランデーです。グラスに注いだワインにほんの少しブランデーを加えるだけグッと美味しいワインになりました。これだったらわざわざ高いワインを買わなくてもリッチで優雅な気分を自宅でも味わえると、ちょっと得をした気分になりました。いやかなり得した気分になりました！

その反面本当に美味しいワインを飲んだ時に味覚が麻痺して本物の違いが分かるか、それが少し心配になってきた今日この頃です（笑）。そう考えると正月番組でよくある芸能人格付でワイン利きでのGACKTの連戦連勝は凄いなあと改めて思いました。

ただ適量な赤ワイン（1日1杯程度）は体にもいいと聞きます。記憶力の向上やアルツハイマーの予防に効くと言われています。また赤ワインはポリフェノールが多く含まれており、これを飲むと血液中の抗酸化機能が上昇することから動脈硬化予防にもいいとも言われていますので酒家のみなさんも健康とのバランスを考えながら美味しいワインを楽しんでみては如何でしょうか。

〈島津 竜太朗（株）シマヅテック〉

編集後記



先日、初めて『猫カフェ』なるところに行きました。ご存じの方もいらっしゃるとは思いますが、猫を愛でながらお茶するという、まあ不思議といえば不思議な業態のカフェです。

猫がかわいい生き物だということはよく知っていますが、犬と違い自分で飼ったことがないので、ちょっと気持ちの距離感があるというか、どう接していいのかよくわからないまま40数年生きてきました(笑)

真面目な話、今回伺った猫カフェの猫たちは、『里親探し』の側面もあるということで、気に入られた子はお客様にもらわれていくこと。そうでない子はカフェで飼われて過ごすそうです。『この春生まれた3～4か月の子がほとんどで、大きい子たちは6歳くらいが一番古株ですね』とお店の方がおっしゃっていました。

飼うだけ飼って、育てられなくなつて捨てられる子も多いという話も聞きました。

そう考えると、都会の片隅で自由は制限されても、みんなに愛でられながら過ごす彼らは、幸せな方なのかもしれませんね。

そんな私が、今回わかったこと。

『猫は、こちらが思うほどこちらのことを気にしない』(笑)

〈宮本 健司 有限会社ユー・アイ技研〉



今回の表紙

横浜みなとみらい 21

横浜開港150周年を迎えた2009年4月に事業を開始。中でもひときわ目立つ『ランドマークタワー』は、高さ296.33mと、みなとみらいを象徴する超高層ビルのひとつ。その他に、高級感を味わえる“半円形デザイン”的な『ヨコハマ グランドインター・コンチネンタルホテル』子供から大人まで楽しめる大観覧車『コスモクロック21』直径100mで、1周約15分。どれも横浜港とみなとみらいの景色を一望でき、横浜の魅力が詰まった観光スポットのひとつです。

〈中村 充徳 (有)中村製作所〉

シートメタル九州 第43号 (九州シートメタル工業会会報)

発行日 平成27年9月25日
発行 九州シートメタル工業会
事務局 株式会社アマダ九州支店
〒816-0912 福岡県大野城市御笠川1-9-4
TEL 092-580-8570

九州シートメタル工業会 ホームページ <http://www/kyushu-sma.gr.jp>
ホームページアドレス・メールアドレスを変更された会員の方は、事務局までご連絡下さい。